

製品名: EDG2 (4G14) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10297**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:100-1:200,IP 1:10-1:100,IF-P 1:100-1:200
分子量	41kDa

抗原情報

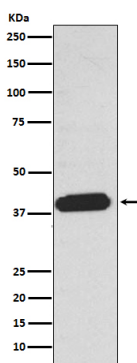
遺伝子名	LPAR1
別名	Lysophosphatidic acid receptor 1; LPA receptor 1; LPA-1; Lysophosphatidic acid receptor Edg-2; LPAR1; EDG2; LPA1;
遺伝子 ID	1902.0
SwissProt ID	Q92633
免疫原	ヒト EDG2 の合成ペプチド

背景

リゾホスファチジン酸 (LPA) 受容体は、多様な細胞活動のメディエーターです。ヘテロ多価 G タンパク質の G(i)/G(o)、G(12)/G(13)、および G(q)ファミリーと共役していると考えられています。RALA 活性化に依存してホスホリパーゼ C (PLC) 活性を刺激します。リゾホスファチジン酸 (LPA) 受容体 (PubMed:9070858、PubMed:19306925、PubMed:25025571、PubMed:26091040)。アクチン細胞骨格の再編成、細胞遊走、分化、増殖に関与し、組織損傷や感染性因子への反応に寄与します。ヘテロ多価 G タンパク質の G(i)/G(o)、G(12)/G(13)、および G(q)ファミリーを介して下流シグナル伝達カスケードを活性化する。シグナル伝達はアデニル酸シクラーゼ活性を阻害し、細胞内 cAMP 濃度を低下させる (PubMed:26091040)。シグナル伝達は細胞質 Ca(2+)濃度の上昇を引き起こす (PubMed:19656035, PubMed:19733258, PubMed:26091040)。RALA を活性化し、ホスホリパーゼ C(PLC)の活性化とイノシトール 1,4,5-トリスリン酸の形成につながる (PubMed:19306925)。シグナル伝達は下流 MAP キナーゼの活性化を媒介する (類似性による)。細胞形状の調節に寄与する。神経細胞におけるアクチン細胞骨格の Rho 依存性再構成および神経突起退縮を促進する (PubMed:26091040)。Rho の活性化およびアクチンストレスファイバーの形成を促進する (PubMed:26091040)。RAC1 の活性化を介して、遊走細胞の先端におけるラメリポディアの形成を促進する (類似性による)。リゾホスファチジン酸受容体としての機能を介して、損傷や創傷への反応を含む走化性および細胞遊走に役割を果たす (PubMed:18066075、PubMed:19656035、PubMed:19733258)。CD14 との相互作用を介して、細菌性リポ多糖 (LPS) に反応して炎症を誘発する役割を果たす。リゾホスファチジン酸に反応して細胞増殖を促進する。正常な骨格の発達に必要。骨芽細胞の分化に関与している可能性がある。正常な脳の発達に必要。成体歯状回における新生ニューロンの正常な増殖、生存、成熟に必要。疼痛知覚および神経障害性疼痛の発現に関与する (類似性に基づく)。

研究分野

画像データ



A375 細胞溶解物中の EDG2 発現のウエスタン ブロット分析。